

温かい善意に感謝

— たくさんのマスクや寄付金が届きました —



**民生委員児童委員協議会
マスクを寄贈**

10月8日、田川市民生委員児童委員協議会の中藤讓二会長と辻孝副会長、松本達男副会長が市役所を訪問。避難所におけるコロナ対策に役立ててほしいとの思いを込め、マスク1,030枚を市に寄贈しました。このマスクは、同協議会が福岡県から寄贈を受けたもので、理事会を経て市への寄贈を決定しました。マスクを受け取った二場公人市長は「コロナ週が終息しない中、災害はいつ起こるかわかりません。マスクの備蓄があれば市民のみなさんが安心できます」と話しました。



**公益社団法人田川法人会
コロナ対策に寄付金**

10月23日、公益社団法人田川法人会の中畑正人会長が市役所を訪問。コロナ対策に役立ててほしいと、市に10万円、市立病院に20万円を寄付しました。同会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のために各種事業を中止。使わなくなった事業費の一部を、災害支援・コロナ対策・社会貢献を目的に田川市郡の自治体や小学校、児童養護施設などに寄付しています。鴻江俊治田川市病院事業管理者は「最前線で奮闘している職員にとって大きな希望となります」と感謝の意を伝えました。



**明治安田生命
「私の地元応援募金」贈呈**

8月24日、明治安田生命保険相互会社北九州支社の篠原学支社長が市役所を訪問。コロナ対策に役立ててほしいと、414,100円を市に寄付しました。これは、地域に密着した身近な生命保険会社を目指して同社が展開する「地域の元気プロジェクト」の一環。地域の暮らし・健康を豊かにする取り組みのひとつとして、コロナ禍の影響を受けた地域を支援しています。寄付金は、田川に縁ある従業員から集まった募金と会社からの寄付を合わせたもので、地元を思う気持ちが込められています。

コロナ禍から暮らしを守る生活困窮者電話相談会

コロナ禍により経済が悪化。リストラや派遣切りなどにより職を失ったことで、貧困状態に陥る人が増えています。仕事や住まいなど、生活に不安を抱いているみなさんの相談に、司法書士が応じます。

- とき 12月5日(土) 10時~16時
- 相談電話番号 ☎ 092-722-4131
- 相談料 無料
- 相談内容

以下のような相談に司法書士が応じます。必要に応じ、行政機関への同行などの支援を行います。

- ・生活保護受給についての相談
- ・借金問題についての相談
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活困窮や解雇・雇い止めなど、雇用問題に関する相談

- 問い合わせ 福岡県司法書士会事務局 (☎ 092-722-4131)

